



集落支援だより

みなさん、こんにちは！

地域おこし協力隊 集落支援担当の廣田です。

気温が高い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？



2年目の夏、 行事・人足・学生受け入れ！

この文章を書いているのは7月。連日の猛暑で毎日汗だくです。

この時期は、夏の行事やイベントの準備で大忙し。特に呼賀自治区では今年新たに大学生の受け入れが始まります。区長さんや役員の皆さんなど何度も打ち合わせを重ね、「どうすれば滞在がより実りの多いものになるか」「現地活動での集落側の負担を少なくできるか」と議論は尽きません。同時に、参加する首都圏の学生ともオンラインで事前交流・打ち合わせを行い、地域と学生の双方が満足できる内容を目指しています。



そのほかに、黒沢自治区をはじめ各地域で地域行事や地域維持活動の支援を微力ながら行っています。単に作業を手伝うだけでなく、皆さんと時間や議論をともにする中で地域の現状を肌で感じ、少しずつ課題解決に向けた提案も行っています。

ドタバタの夏ですが、多くの町民の皆さんとご一緒に、充実した毎日です。

第10回 奥川七観音ウォーク実施！

6月8日、奥川地区にて「奥川七観音ウォーク」が実施されました。奥川地区の御詠歌が残る7つの観音堂を巡る本イベントも、今年で10回目。記念すべき回に、私は担当として携わりました。

今回は、御朱印スタンプラリーを兼ねたパンフレットの作成、巡礼経路の見直し、スタンプによる御詠歌の詠唱など、新しい企画を盛り込みました。また、前日入りした福島大学の学生向けワークショップや郷土料理体験など

を奥川地域づくり協議会が担い、イベントを一層盛り上げました。

当日は初回以来の多さとなる約40人が参加！老若男女さまざまな立場の参加者が列を成して歩みを進めました。普段から人足や田植えなどのイベントに参加している人も、このように複数の集落を歩いて巡るとい

う体験は珍しかったようです。10数キロという長く起伏に富んだ道のりに苦戦している様子も見られましたが、奥川の風土を五感で堪能していました。

地域内外多くの皆さんのご協力で無事に実施できました。今後も、より持続可能な充実した形を目指し引き続き協議を重ねていきます。

▼完成したパンフレット



残り半分。協力隊の3年間

早いもので、9月で地域おこし協力隊としての任期の折り返しを迎えます。

各地域での地道な活動は、目に見えにくい部分もありますが、これまで培った知見や地域の皆さんとの関係性を大きな糧とし、後半は各地域での取り組みをさらに発展させる所存です。退任後の生活も見据えつつ、日々活動に邁進してまいりますので、今後ともよろしくお願ひします！